

喜念小学校 コミュニティ・スクールだより 第5号

～ 地域と学校の幸せの創造 ～

令和6年1月22日（月）

喜念小学校学校運営協議会事務局

1 第5回学校運営協議会の主な内容

- (1) 開催日時 令和6年1月17日（水） 19:00～20:30
- (2) 開催場所 喜念小学校 多目的室
- (3) 主な活動・協議内容
 - 手おどりの継承に向けた進捗状況共有
 - 信頼される学校づくりのための委員会
 - 熟議
 - ・ 創立120周年及び新校舎落成を祝う会
 - ・ 令和6年度の学校運営協議会で目指すこと

2 熟議の報告

(1) 創立120周年及び新校舎落成を祝う会

今回の熟議では、学校運営協議会として、祝う会で目指すべき方向性・祝う会の実施日案について意見交換を行いました。

※ 「創立120周年及び新校舎落成を祝う会」は現時点での仮称であり、正式名称ではないことを御了承ください。

○ 目指すべき方向性

様々な意見交換を通じて、学校運営協議会としては、以下を、祝う会の最上位目標としてはどうかという結論になりました。

【「祝う会」実施にあたっての最上位目標】

- 参加者（児童・保護者・地域住民・教職員等）が楽しめる会にする。
- 特に、児童が楽しめる会にする。

また、この実現のために、以下2点も視野に入れながら、祝う会を創り上げていければとの意見もありました。

- ① 従来行われてきた記念式典や祝賀会にとらわれず、参加者全員が当事者となり、様々な意見を出し合いながら、この会を創り上げていく。
- ② 児童にも、当事者として、「参加者に楽しんでいただくためにできること」を考え、実施してもらう。

☆☆ 裏面に続きます。☆☆

○ 実施日

【学校運営協議会としての実施日案】

令和6年11月9日（土） ※ 土曜授業の日

本実施日案は、「午前中に学習発表会」「午後から（昼食時から）祝う会の開催」を想定して設定しました。

(2) 令和6年度の学校運営協議会で目指すこと

学校運営協議会は、できるだけ簡単に言うと、「地域と学校の幸せを創る組織・仕組み」です。

令和6年度は、学校運営協議会2年目となります。地域と学校の幸せの創造に向けて、「何があれば（どうすれば）喜念小学校区が活性化するか？」について熟議を行いました。



○ 考えていかなければならない点

様々な意見交換を通じて、特に以下の2点について、考えていく必要があるとの結論になりました。

- ① 児童数の減少
- ② コロナ禍で薄くなってしまった「地域と学校とのつながり」の再構築

① 「児童数の減少」について

児童数の減少は、喜念小学校区においても深刻な状況です。

本年度の1月現在の児童数は18名であり、令和6年度は、現時点での見込みでは、16名となります。

本熟議をとおして、事務局では、宅地整備など、町行政との連携が必要な部分があるとともに、それ以上に、自分たちに何ができるかを考え、できることを行っていく必要があると考えています。

② コロナ禍で薄くなってしまった「地域と学校とのつながり」の再構築

コロナ禍では様々な制限があったため、地域と学校とのつながりが薄くなってしまいました。一方で、コロナ禍は、従来当然とされてきたものを見直す大きなきっかけとなったことも事実です。

本熟議をとおして、事務局では、従来にとらわれず、コロナ禍で失ったもの・得たものを踏まえながら、地域と学校とのつながりの再構築を目指していく必要があると考えています。